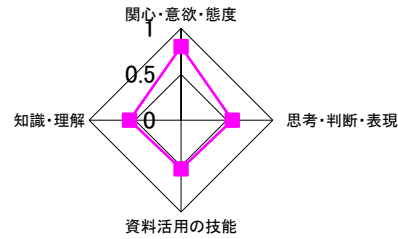


内容別・観点別の分析

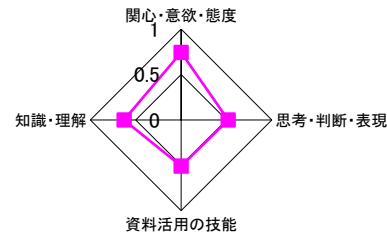
1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	80%
思考・判断・表現	56%
資料活用の技能	53%
知識・理解	56%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



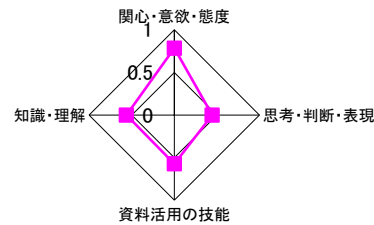
2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	74%
思考・判断・表現	52%
資料活用の技能	51%
知識・理解	63%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



3年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	78%
思考・判断・表現	45%
資料活用の技能	57%
知識・理解	56%

定期考査及び7月までの指導状況の分析



指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	授業に意欲的に取り組んでいこうという姿勢が感じられる生徒が多い。意欲はあるが、支援が必要である生徒も多く見られるため、見やすい板書や声かけなど、配慮をしていきたい。社会的な思考・判断の能力を高めるために絶えず工夫していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 板書計画をしっかりと立て、見やすい板書を心掛ける。 ノート点検などを丁寧に行い、支援が必要な生徒を把握に役立てる。それをもとに適切な声かけをする。 知識定着のため、単元終了ごとに小テストを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業中に、世界の国新聞の課題を出し、社会的な事象に関する関心や意欲を高めるとともに、資料活用・思考力判断力表現力を伸ばすようにする。 定期テストの前には必ず振り返りの時間を設ける。
2年	授業に意欲的に取り組んでいこうという姿勢が感じられる生徒が多い。しかし、ごく一部に意欲の低い生徒もおり、声かけなどの配慮が欠かせない。社会に関する関心もあり、その内容を深めていこうとする姿勢も良い。社会的な思考・判断の能力を高めるために絶えず工夫していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間の課題プリントに、資料読み取りや作業、思考の内容を加えることで学習内容を深める。 課題を班で話し合う機会をもうけ、深い学びの場を設ける。 知識定着のため、単元終了ごとに小テストを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業に、都道府県新聞の課題を出し、資料活用・思考判断・表現の力を伸ばすようにする。 定期テスト前に必ず振り返りを行う。 1年生の学習内容の復習の機会を設け、取りこぼした事象を補充していく。
3年	3年生となり、意欲をもって学習に取り組む生徒が圧倒的に多く、しっかりと授業に取り組んでいる。ごく一部、配慮の欠かせない生徒もいる。発達段階的にも物事の多面性を考え、自分の言葉で表現する力が付いてきているので、社会的な思考・判断の能力を高めるための指導の工夫をしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 歴史・公民の学習の中で、自分たちの生活に照らし合わせながら、基本的事象の背景や原因などについて考えさせ、社会的な思考・判断の力を付けさせたい。 課題を班で話し合う機会をもうけ、深い学びの場を設ける。 知識定着のため、単元終了ごとに小テストを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 長期休業に、「税の作文」と「税の標語」の課題を出し、資料活用・思考判断・表現の力を伸ばすようにする。 定期テスト前に必ず振り返りを行う。 1、2年生の学習内容の復習の機会を設け、取りこぼした事象を補充していく。